

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道50号 ^{しもだて} 下館バイパス（4工区）	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点	自： ^{いばらき} 茨城県下館市下川島 至： ^{いばらき} 茨城県下館市玉戸	延長	2.6 km		

事業概要
一般国道50号は、群馬県高崎市から水戸市に至る延長約150kmの首都圏北部の環状な路線で、茨城県中央部を東西に横断する路線であるほか、広域道路(交流促進型)に位置づけられている重要な路線である。下館バイパス(4工区)は、交通渋滞緩和や地域連携強化などを目的に進めている延長2.6kmの現道拡幅の4車線道路である。

事業の目的、必要性
下館バイパス(4工区)は、現道の国道50号の市街地における交通混雑の緩和を図るとともに、地域連携や安全性の確保、地域の活性化に大きく寄与するものである。

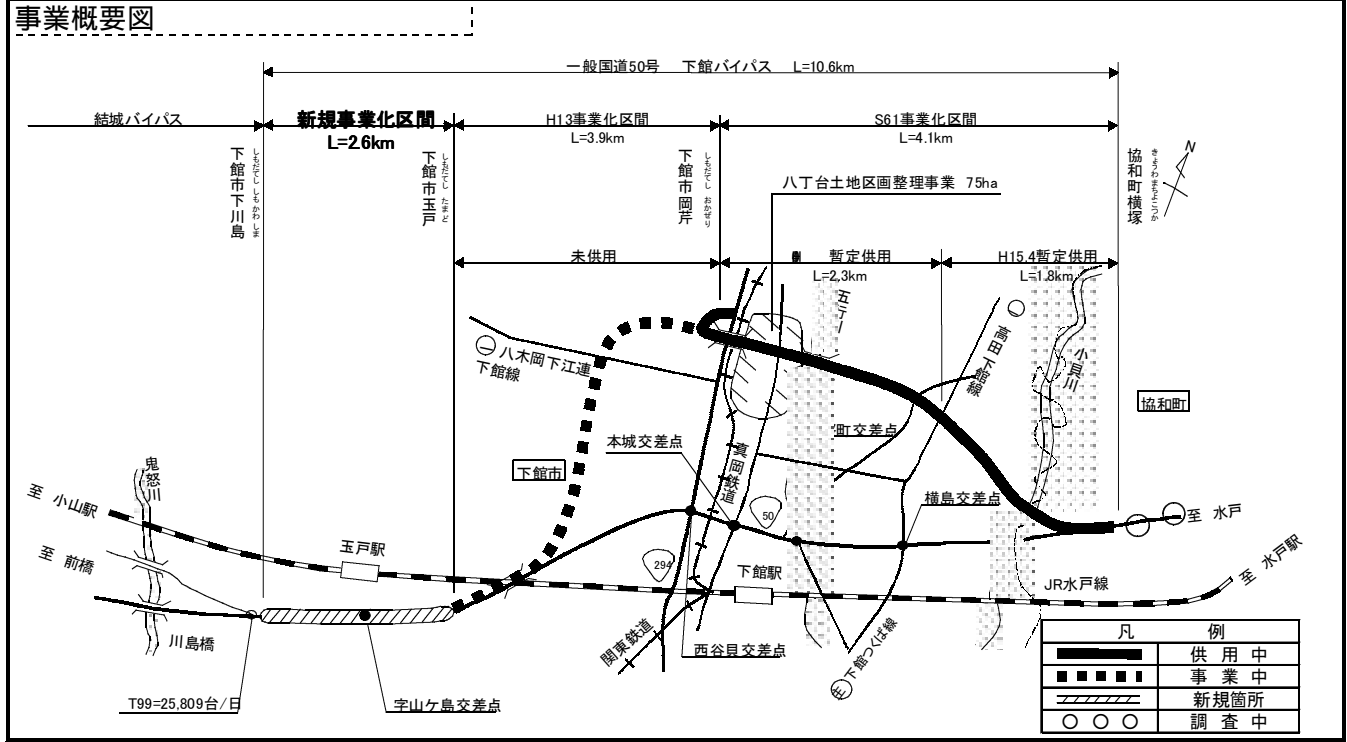
全体事業費	約70億円		計画交通量	43,400台/日		
費用対効果分析結果	B/C	2.0	総費用	56億円	総便益	110億円
			（事業費：47億円）		（走行時間短縮便益：96億円）	基準年：平成15年
			（維持管理費：9億円）		（走行費用減少便益：13億円）	
					（交通事故減少便益：1億円）	

事業の効果等

- 円滑なモビリティの確保（渋滞緩和により新幹線【小山駅】へアクセス向上が見込まれる）
- 個性ある地域の形成（筑西地方拠点都市地域構想を支援する）
- 災害への備え（茨城県地域防災計画における第一次緊急輸送道路として支援する）

他5項目に該当（定量的評価項目を含む）

関係する地方公共団体等の意見
下館バイパスは、地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、下館市土木主要事業整備促進委員会及び下館市をはじめとする関係3市6町1村の首長で構成される国道50号線整備促進期成同盟会より早期事業化の要望（平成15年7月）を受けている。



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。